



Q

肺炎球菌感染症の治療法は

CT検査で白い影があり、肺炎球菌感染症と

のこと。若いころかかった

肺炎と関係ありますか？

治療法などを教えてください。

(女性・73歳)

*

A

肺炎球菌は最も代表的な肺炎の原因菌で、普通の肺炎

では30%程度がこの菌によるものです。菌自体はありふれており、保菌しているだけで発症しない人も多いのですが、髄膜炎、敗血症などの重症感染症に進行する場合もあり、注意が必

紙上診察室

久田 哲哉氏



要です。小児の中耳炎・副鼻腔炎などは、多くはこの菌が原因となります。

肺炎などの感染症を発症した場合、ペニシリン系を中心とした抗生物質投与で治療します。ただ、最近、

抗生物質が効きにくい耐性肺炎球菌が増えており、発症後の治療よりも、予防の重要性がいわれています。

その中心となるのが、肺炎球菌ワクチンの接種です。特に高齢者、心臓疾患・呼吸器疾患など慢性疾患を持つ方には接種をお勧めします。六十五歳以上を中心に、各地方自治体で助成制度が広まっていますので、ご相談者も未接種であれば、役所や保健所に確認してみてもいいでしょう。

肺炎球菌には複数の種類があり、一度かかっても別

の種類の菌に感染する可能性もあります。ワクチンは二十二種類の血清型肺炎球菌株に対応していますので、罹患経験がある人でも、接種を検討してもよいと思います。

ご相談者がどんな症状で検査したのか分かりませんが、発熱、せき、たんなどの急性症状があり、肺炎球菌感染症と診断されたのなら、まず抗生物質での治療が必要です。若いころの肺炎とは関連ないでしょう。

(東京通信病院呼吸器内科部長)

まず抗生物質の投与を